

# IPX 誘導電磁場処理

## 基本原理

金属に外部から磁場を印加すれば金属周辺を取り囲む、電子（電子雲）は偏りを生じる。又、磁場を変動すれば電子雲は変動する。すなわち、変動磁場（N、Sを交互に変動させる磁場）を印加すれば、電子雲は振動状態となります。これが‘磁場振動処理’といわれる理由であり、磁場振動処理の原理です。この内容は一般的に、交流磁場をかけると物の長さが交互に変化する現象として記述されている内容でもあります。

この振動状態は金属のストレスの均一化を促進し、又、金属組織の再構築（金属の改質）が行なわれることとなります。

結果として、金属の種々の改質が行なわれることとなります。

改質内容について大学の研究所その他公的機関で解析、分析調査して継続していますが中間報告書は、革新的なデータを入手しています。

弊社ではさらに別の研究機関（金属組織を超えた物性面から材料を研究している研究所）に依頼して進展を計っています。

又国内外の金属表面処理メーカーと連結してIPXと複合処理を視野に入れた方法も大きく前進しています。



**TOKYO CERAMIC CORPORATION**